



# 学校だより

西寺尾第二小学校

6月号

令和5年5月25日

※本年度から学校だよりは月末の25日前後に発行します。



## 「たてわり活動」って素敵

校長 宮崎 里子

5月はこんなに暑かったかしら、まるでリモコンでチャンネルを変えたようにいきなり暑い日になったかと思うと、羽織ものが必要なくらい涼しい日もあり、寒暖の差に慣れない毎日です。

さて、去る5月19日(金)はたくさんの保護者の皆様に授業参観にお越しいただきました。また、その後に行われた学校説明会、PTA総会にもご参会くださりありがとうございました。学校説明会にご欠席の皆様には紙面資料もございますのでご覧ください。今後も、学校連絡システム「コクー」やホームページを使いながら、保護者の皆様と情報を迅速に共有し、より豊かな学校経営につなげたいと思っております。学校説明会スライドもホームページに掲載いたしましたので、ご覧ください。ホームページ内「第二小日記」には日々のちょっとしたエピソードや子どもたちの様子等掲載されています。ご覧いただきましたら幸いです。

5月20日(土)には横浜神奈川東ライオンズクラブ主催の地域行事「おもちつき」が本校で行われました。心配されていたお天気も雨に降られることなく、たくさんのお子どもたちがお餅をつく体験をさせていただき、つきたてのきなこもち、あんこもちをほおばって笑顔があふれました。

地域の皆様や本校PTA役員の皆様が子どもたちのためにと一念発起して行ったイベントでしたが、皆様の連携力にはただただ、驚き、感謝しかございません。60kgものもち米を焚き上げ、機械でこね、臼と杵でつきあげていく手際の良さに圧倒されました。

翌日には西寺尾第三町内会主催の「歩け歩け大会」が実施され、ここでもたくさんの地域の皆様が子どもたちの楽しい一日のために力を尽くしてくださいました。神奈川区スポーツ推進委員の皆様にもお力添えいただき、子どもたちの健全育成への熱い思いを感じました。

子どもたちは学校・保護者・地域の皆様と、たくさんのお大人に見守られ、この地に根を下ろし、次の世代として育っていきます。地域の皆様に公園でいたずらをして叱っていただく経験も、お年寄りの方や小さな子に親切にして褒められる経験も、子どもたちにとっては得難い積み重ねとなります。たくさんのお大人の方がそばにいてくださる子ども時代を過ごせるこの地の子どもたちは、本当に幸せだとしみじみ感じています。

学校では1・3・6年生、2・4・5年生のたてわり班による「ふれあいハッピー活動」(略してふれハピ)がいよいよ始まります。このグループで体力テストを行ったり、遠足に行ったりします。「ふれハピ」を通して子どもたちが自分の役割を自覚し、豊かな育ちにつながる実感がありますが、ふと、地域の行事から「私たちは大人になってもいつも「たてわり活動」をしているのだな。」と感ずることができました。様々な年代のメンバーが助け合い関わり合うって素晴らしい。学校の職員集団も子どもの幸せを目指した「たてわり活動」だと思ふとなんだか一層楽しくなってきました。

子どもも、大人も。「夢・希望・活力」ある毎日を過ごしていきたいと思ふます。